

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮崇	法人・ 事業所 の特徴	自分や家族・友人が利用したいと思うサービスを提供します。 通所・宿泊・訪問この3つを自由にその方にとって必要な支援を組み合わせ、その時の体調や状況によって柔軟なサービスを提供しています
事業所名	小規模多機能型居宅 介護アネックス関原	管理者	清水直樹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	1人	1人	1人	人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今年度中に業務改善の係で、閲覧が終えたかの確認方法、閲覧すべき掲示物の基準をつくる。	回覧について具体的な基準が作れなかった。	事業所の取組みの経過が見えづらい	運営推進会議で改善項目についての経過を説明していく。(〇月〇日に集まって改善・実行内容)
B. 事業所のしつらえ・環境	前年度実施できなかった近隣の方に対して、広報紙の係が具体的なモニター内容の明確化、対象者への依頼を年内に依頼する。また、行事の際、来て下さったかたに事業所に関するアンケートを実施し、広報紙に反映できるように作成に繋げる。	近隣の方に対して、広報紙のモニター依頼ができていなかった。行事の際、事業所に関するアンケートは実施できていたが、広報紙へ反映ができていなかった。	イベントなどでは入りやすいし居心地が良いが個々で入ると利用者との関わりがないのでテラスから利用者のいるスペースには入りにくい。 利用者との関わりを持ち方が今後の課題。 職員の挨拶がしっかりできている。	広報紙のモニター依頼をし、地域の方の意見を反映できるようにする。 行事等でのアンケートを継続し、広報紙に反映する。 回覧だと見落としなどがある。チラシ配布可能な方に協力してもらおう。 やすらぎにポスター掲示をお願いする。 サークルやグループの長に直接案内に行く。年明けにやすらぎご利用の方にお茶のみを計画。 行事で町内の方と関わりを増やしアネックスへ来てもらう機会を増やしその延長じょうに利用者地域の方と関われるように工夫していきたい。

C. 事業所と地域のかかわり	小規模についての実習生の説明は継続し、全職員が実施する。広報紙以外の周知について、ミーティングにて協議し、具体的な対応は次年度事業所計画に反映する。	実習者などへ向けた事業所の説明はできていた。地域の方が喜ばれるイベントを多く開催し喜ばれていた。	イベント等で事業所へ出向く機会が増えている。事業所と地域が一緒になっての取組みができないのか？どのように取り組んでいくのか伝えきれていない。	イベントや介護教室について地域との協働を図る等の見直しをし、事業所として入りやすい環境作りをしていく。地域の行事等で事業所の紹介等していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ミーティングにて利用者の情報ノートについて評価を行い、活用方法を検討する。(今年度中)。利用者に係る社会資源を整理し、ライフサポートの作成に繋げる(次年度計画で実施)。広報紙のモニターに地域の役員の方にも加わって頂き、地域のイベントの把握を行う。	ミーティングした結果利用者ノートではなく、他のやり方で行っていた。地域の役員との関わりが密にできていなかった。	行事等で利用者と町内の方との接点ができてない。	必要に応じて民生委員の方にかかわってもらい、利用者や地域の方との接点がもてるようにしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	2月までに運営推進会議での評価の工程を検証し、次年度の運営推進会議開催までに地域課題や広報紙の内容説明を取り入れた形式に修正をはかる。	運営推進会議で広報紙の提示は行ったが、すでに実施したものに限られており、実施前に委員からの意見は募れなかった。	運営推進会議で意見が職員間に伝えきれてない。	運営推進委員会で意見やミーティング等で職員間で共有し、職員一人一人が自分だったらどう思うのかどう取り組みたいのかなど考え話し合う。
F. 事業所の防災・災害対策	災害時マニュアルの配布は終了(11月終了)。動きや装置の確認については半数の職員しか終了しておらず、残りを今年度中に終わる。また福祉避難所についての勉強会を行う。また、その際に必要な備えについても検討する。(29年6月までに)	福祉避難所についての勉強会を実施したが、職員の入れ替わりが多くあり、伝えられていない職員がいた。	災害時に事業所がどのような働きをするのか分からない。防災訓練に関して運営推進会議の中でやってみたい。運営推進委員会の方だけでなく町内の方も参加して頂きたい。	具体的に防災計画の見直しを実施し、チームとして職員個々が役割を果たせるような訓練を実施する。町内の方も関わってもらい防災訓練を行う。